

持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画実施状況報告書

神奈川県知事殿

番地まで記入してください。

住所 神奈川県横浜市中区日本大通1
氏名 神奈川 金太郎
認定番号 H00-00

平成 年 月 日付けで認定を受けました持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画の実施状況について次のとおり報告します。

1 持続性の高い農業生産方式の導入状況

(1) 農業経営の状況

		水田	普通畑	樹園地	その他	合計
経営面積	生産方式導入 作付面積	50 a	5 a	0 a	0 a	55 a
	作付面積	50 a	100 a	50 a	0 a	200 a
労働力	農業従事者男 3 人(うち専従者 2 人) 女 2 人(うち専従者 0 人)					

(注1) 上段には、生産方式を導入する作付面積を記入し、下段には、生産方式を導入しない作付面積を含めた作付面積の合計を記入する。(借入地面積及び受託地面積を含む。)

(注2) 「労働力」の専従者とは、1年間に農業に150日以上従事した者をいう。

(2) 作物別生産方式導入面積

認定申請時の目標をそのまま記入してください。

実施状況を記入してください。

生産方式導入作物名		(2 年目)	
		目標	実施状況
水稲	生産方式導入 作付延べ面積	50 a	50 a
	作付延べ面積	50 a	50 a
トマト(施設栽培)(促成)	生産方式導入 作付延べ面積	10 a	5 a
	作付延べ面積	50 a	50 a
小計	生産方式導入 作付延べ面積	60 a	55 a
	作付延べ面積	100 a	100 a
その他作物(作付延べ面積)		200 a	200 a
合計(作付延べ面積)		300 a	300 a

面積の単位はa(アール)です。
1 せ = 約 1 a
100 平米 (㎡) = 1 a
1 反 = 約 10 a
1 町 = 約 100 a = 約 1 ha

() 内に作型を記入してください。

(注1) 「目標」に認定申請時の当該年度の目標を、「実施状況」に本年度の実施状況を記入する。
(注2) 上段には、導入しようとする農業生産方式に係る農作物の作付延べ面積を記入し、下段には、当該農作物と同じ種類の農作物の作付延べ面積の合計を記入する。
(注3) 同一ほ場で、年に複数回作付する場合は、作付延べ面積を記入する。
(注4) 「その他作物」には、持続性の高い農業生産方式を導入しない農作物の作付延べ面積の合計を記入する。

昨年度の実施状況を記入してください。
認定申請時の目標達成は必須ではありません。

目標を下回った場合は、来年度以降目標を達成できるよう、農業技術センター等で相談を受けますので、お気軽に御相談ください。

認定申請時の目標をそのまま記載してください。

(3) 導入した生産方式の内容

作物名: 水稲		県の慣行レベル 化学肥料の使用量 5.6 kgN/10a 化学合成農薬の使用回数 14 回	
目標 (認定申請時)		実施状況	
収量	13,000 kg/10a	収量	12,000 kg/10a
生産方式の内容	資材等の量・回数 (1作当たり)	生産方式の内容	資材等の量・回数 (1作当たり)
有機質資材施用技術 <input checked="" type="checkbox"/> 1. 堆肥等有機質資材施用 稲わら C/N比 19 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 緑肥作物利用 レンゲ <input checked="" type="checkbox"/> 導入技術なし	施肥量 2 t/10a 施肥窒素量 2.4 kgN/10a 導入予定時期 { 11~12 月 }	有機質資材施用技術 <input type="checkbox"/> 1. 堆肥等有機質資材施用 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 緑肥作物利用 レンゲ <input checked="" type="checkbox"/> 導入技術なし	施肥量 1 t/10a 施肥窒素量 1.2 kgN/10a 導入実施時期 { 24 年 11~12 月 }
化学肥料低減技術 <input type="checkbox"/> 1. 局所施肥 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 肥効調節型肥料施用 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 有機質肥料施用 <input type="checkbox"/> 導入技術なし 肥料名 水稲用有機肥料 ○○化成 (12-12-12)	施肥窒素量 2.4 kgN/10a うち化学肥料施肥窒素量 1.2 kgN/10a 施肥量 1 kg/10a 施肥量 10 kg/10a	化学肥料低減技術 <input type="checkbox"/> 1. 局所施肥 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 肥効調節型肥料施用 <input type="checkbox"/> 3. 有機質肥料施用 肥料名 ○○化成 (12-12-12)	施肥窒素量 2.4 kgN/10a うち化学肥料施肥窒素量 2.4 kgN/10a 施肥量 kg/10a 施肥量 20 kg/10a
化学農薬低減技術 <input checked="" type="checkbox"/> 1. 温湯種子消毒 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 機械除草 <input type="checkbox"/> 3. 除草用動物利用 <input type="checkbox"/> 4. 生物農薬利用 <input type="checkbox"/> 5. 対抗植物利用 <input type="checkbox"/> 6. 抵抗性品種栽培・台木利用 <input type="checkbox"/> 7. 土壌還元消毒 <input type="checkbox"/> 8. 熱利用土壌消毒 <input type="checkbox"/> 9. 光利用 <input type="checkbox"/> 10. 被覆栽培 <input type="checkbox"/> 11. フェロモン剤利用 <input checked="" type="checkbox"/> 12. マルチ栽培	化学合成農薬使用回数 7 回 導入予定時期・資材名 技術番号 { 1 } 5 月 技術番号 { 2 } 7 月 技術番号 { 12 } 5 月 シルバーマルチ	化学農薬低減技術 <input type="checkbox"/> 1. 温湯種子消毒 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 機械除草 <input type="checkbox"/> 3. 除草用動物利用 <input type="checkbox"/> 4. 生物農薬利用 <input type="checkbox"/> 5. 対抗植物利用 <input type="checkbox"/> 6. 抵抗性品種栽培・台木利用 <input type="checkbox"/> 7. 土壌還元消毒 <input type="checkbox"/> 8. 熱利用土壌消毒 <input type="checkbox"/> 9. 光利用 <input type="checkbox"/> 10. 被覆栽培 <input type="checkbox"/> 11. フェロモン剤利用 <input checked="" type="checkbox"/> 12. マルチ栽培	化学合成農薬使用回数 8 回 導入実施時期・資材名 技術番号 { } 年 月 技術番号 { 2 } 24 年 7 月 技術番号 { 12 } 24 年 5 月 黒マルチ

左は、次の場合の記入例です。

- 収量
目標13,000kgだが、12,000kgだった。
- 堆肥等有機質資材施用で稲わらを施用できなかった。
- 化学肥料低減技術の有機質肥料施用技術を実施できなかった。よって、化学肥料施肥窒素量が多くなった。
- 温湯種子消毒は、実施できなかった。よって、化学合成農薬使用回数が多くなった。
- マルチ栽培は、計画ではシルバーマルチだったが、黒マルチとなった。

化学肥料の成分の表示について、肥料名の最後に3要素(窒素・リン酸・カリ)を示す数字を記入してください。

- (注1)「県の慣行レベル」については、特別栽培農産物に係る表示ガイドラインにおける県の慣行レベルを記入する。
- (注2)「目標」に認定申請時の目標内容を、「実施状況」に本年度の実施状況を記入する。
- (注3)「有機質資材施用技術」、「化学肥料低減技術」及び「化学農薬低減技術」については、該当項目の□に、レを入れる。
- (注4)「資材等の量・回数」については、1作当たりの施用量とする。
- (注5)「有機質資材施用技術」の1. 堆肥等有機質施用の〔 〕内には、「堆肥の種類」を、
2. 緑肥作物の〔 〕内には、「作物名」を記入する。
- (注6)「化学肥料低減技術」は、〔 〕内に「肥料名」及びそれぞれの施肥量を記入する。
- (注7)「化学農薬低減技術」は、□にレを入れた該当項目の技術番号ごと導入時期・資材名を記入する。
- (注8) 化学農薬使用回数は、「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」の計数方法に従う。

昨年度の実施状況を記入してください。認定申請時の目標達成は必須ではありません。
 目標を下回った場合は、来年度以降目標を達成できるよう、農業技術センター等で相談を受けますので、お気軽に御相談ください。

認定申請時の目標をそのまま記載してください。

(3)導入した生産方式の内容

作物名: トマト(施設栽培)(促成)		県の慣行レベル 化学肥料の使用量 29.3 kgN/10a 化学合成農薬の使用回数 35 回	
目標(認定申請時)		実施状況	
収量	20,000 kg/10a	収量	21,000 kg/10a
生産方式の内容	資材等の量・回数 (1作当たり)	生産方式の内容	資材等の量・回数 (1作当たり)
有機質資材施用技術 <input checked="" type="checkbox"/> 1.たい肥等有機質資材施用 稲わら C/N比 19 <input checked="" type="checkbox"/> 2.緑肥作物利用 レンゲ <input type="checkbox"/> 導入技術なし	施肥量 2 t/10a 施肥窒素量 2.4 kgN/10a 導入予定時期 { 10~11 月 }	有機質資材施用技術 <input checked="" type="checkbox"/> 1.たい肥等有機質資材施用 稲わら C/N比 19 <input checked="" type="checkbox"/> 2.緑肥作物利用 レンゲ 導入実施時期 { 24 年 10~11 月 }	施肥量 2 t/10a 施肥窒素量 2.4 kgN/10a 導入実施時期 { 24 年 10~11 月 }
化学肥料低減技術 <input type="checkbox"/> 1.局所施肥 <input checked="" type="checkbox"/> 2.肥効調節型肥料施用 <input checked="" type="checkbox"/> 3.有機質肥料施用 <input type="checkbox"/> 導入技術なし 肥料名 ぼかし肥料 〇〇化成(12-12-12)	施肥窒素量 12 kgN/10a うち化学肥料施肥窒素量 9.6 kgN/10a 施肥量 3 kg/10a 施肥量 80 kg/10a	化学肥料低減技術 <input type="checkbox"/> 1.局所施肥 <input checked="" type="checkbox"/> 2.肥効調節型肥料施用 <input checked="" type="checkbox"/> 3.有機質肥料施用 肥料名 ぼかし肥料 〇〇化成(12-12-12)	施肥窒素量 10.8 kgN/10a うち化学肥料施肥窒素量 8.4 kgN/10a 施肥量 3 kg/10a 施肥量 70 kg/10a
化学農薬低減技術 <input type="checkbox"/> 1.温湯種子消毒 <input type="checkbox"/> 2.機械除草 <input type="checkbox"/> 3.除草用動物利用 <input checked="" type="checkbox"/> 4.生物農薬利用 <input type="checkbox"/> 5.対抗植物利用 <input checked="" type="checkbox"/> 6.抵抗性品種栽培・台木利用 <input type="checkbox"/> 7.土壌還元消毒 <input type="checkbox"/> 8.熱利用土壌消毒 <input type="checkbox"/> 9.光利用 <input type="checkbox"/> 10.被覆栽培 <input type="checkbox"/> 11.フェロモン剤利用 <input checked="" type="checkbox"/> 12.マルチ栽培	化学合成農薬使用回数 7 回 導入予定時期・資材名 技術番号 { 4 } 5 月 〇〇キラ 技術番号 { 6 } 5 月 黄化葉巻病抵抗性品種 技術番号 { 12 } 5 月 シルバーマルチ	化学農薬低減技術 <input type="checkbox"/> 1.温湯種子消毒 <input type="checkbox"/> 2.機械除草 <input type="checkbox"/> 3.除草用動物利用 <input checked="" type="checkbox"/> 4.生物農薬利用 <input type="checkbox"/> 5.対抗植物利用 <input checked="" type="checkbox"/> 6.抵抗性品種栽培・台木利用 <input type="checkbox"/> 7.土壌還元消毒 <input type="checkbox"/> 8.熱利用土壌消毒 <input type="checkbox"/> 9.光利用 <input type="checkbox"/> 10.被覆栽培 <input checked="" type="checkbox"/> 11.フェロモン剤利用 <input checked="" type="checkbox"/> 12.マルチ栽培	化学合成農薬使用回数 6 回 導入実施時期・資材名 技術番号 { 4 } 24 年 5 月 〇〇キラ 技術番号 { 6 } 24 年 5 月 シルバーマルチ 技術番号 { 11 } 24 年 6 月 フェロモン剤

左は、次の場合の記入例です。
 ・収量 目標20,000kgだが、21,000kgだった。
 ・化学肥料施肥が少なかったため、化学肥料施肥窒素量が目標を上回った。
 ・化学農薬低減技術でフェロモン剤利用を追加で行った。よって、化学農薬使用回数が目標を上回った。

化学肥料の成分の表示について、肥料名の最後に3要素(窒素・リン酸・カリ)を示す数字を記入してください。

認定申請時の目標をそのまま記載してください。

税務申告等を参考に記入してください。
農業所得 = 販売額 - 必要経費
 (必要経費: 肥料費、農業薬剤費、雇用労賃などの経費)

「生産方式導入作物」は認定申請作物の全ての面積(生産方式導入作付け面積 + 生産方式導入をしない作付け面積)

「その他作物」は生産方式導入作物以外。

(4) 農業所得等の実績

	目 標		実施状況	
	農業所得		農業所得	販売額
生産方式導入作物	475	千円	千円	1,450 千円
その他作物	100	千円	千円	330 千円
合計	575	千円	535 千円	1,780 千円

(注1)「目標」に認定申請時の目標内容を、「実施状況」に本年度の実施状況を記入する。
 (注2)「生産方式導入作物」には、1の(2)生産方式導入作物の作付延べ面積分(生産方式導入をしない面積を含む)を記入する。

2 1の目標を達成するために必要な措置に関する事項

(1) 堆肥等利用状況

	目 標		実施状況	
	堆肥など有機質資材の種類	稲わら		なし
自給	2	t	0	t
購入	3	t	0	t
備考	入手先	JAOO	入手先	なし
	主な原料	稲わら	主な原料	なし

(注1)「目標」に認定申請時の目標内容を、「実施状況」に本年度の実施状況を記入する。
 (注2)「堆肥等有機質資材の種類」には、有機質資材の一般的な名称(例:牛ふんおがくず堆肥)を記入する。
 (注3)「備考」には、有機質資材の入手先、主な原料等を記入する。

(2) 機械・施設整備状況

種類・能力	実施状況	
	台数	実施時期
水田用除草機(6条用)	1	26年 4月
		年 月

(注)「目標」に認定申請時の目標内容を、「実施状況」に本年度の実施状況を記入する。

該当がない場合は記入不要です。

(3) 資金調達状況

資金用途	資金種類	金額	償還条件等	実施時期	備考
水田用除草機(6条用)の整備	農業改良資金	60 千円	10年以内	26年 4月	特例適用
		千円		年 月	
合計		千円			

(注1)「資金用途」には、整備した機械・施設等を記入する。
 (注2)「資金種類」には、自己資金、市中資金、制度資金(資金名を併記)、その他の区分を記入する。
 (注3)「金額」には、補助金等の助成措置がある場合には、括弧書きで外数として記入する。

(4) 認定農業者認定の有無(農業経営基盤強化促進法)

認定農業者認定の有無 有 (27 年 3 月) 無

(注)「認定農業者認定の有無」は、該当項目の口に、レを入れる。

3 栽培履歴の記帳状況

生産方式導入作物名	実施面積	記帳項目
水稲	50 a	<input checked="" type="checkbox"/> 施肥管理状況 <input checked="" type="checkbox"/> 農薬使用状況 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (<input checked="" type="checkbox"/> 作業日誌)
トマト(施設栽培)(促成)	5 a	<input checked="" type="checkbox"/> 施肥管理状況 <input checked="" type="checkbox"/> 農薬使用状況 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (<input checked="" type="checkbox"/> 作業日誌)
	a	<input type="checkbox"/> 施肥管理状況 <input type="checkbox"/> 農薬使用状況 <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/>)

(注)「記帳項目」は、該当項目の口に、レを記入する。

神奈川県エコファーマーマーク使用
 規程に基づく許諾を得て、エコ
 ファーマーマークを使用している方
 のみ記入してください。
 エコファーマーマークを使用している
 方は必ず記入してください。

4 エコファーマーマークの使用状況

作物名	出荷期間	総出荷量 (重量又は個 数)	マークを添付し た出荷量(重 量又は個数)	使用媒体
水稲	26年 10月 から 26年 12月	12,000kg	6,000kg	<input checked="" type="checkbox"/> シール <input type="checkbox"/> 包装容器 <input type="checkbox"/> 包装箱 <input type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ワッペン <input checked="" type="checkbox"/> 名刺 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ)
トマト(施設栽培) (促成)	26年 7月 から 26年 9月	21,000kg	21,000kg	<input type="checkbox"/> シール <input type="checkbox"/> 包装容器 <input type="checkbox"/> 包装箱 <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ワッペン <input checked="" type="checkbox"/> 名刺 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ)

(注1)使用している方のみ記入する。

(注2)「使用媒体」は、該当項目の口に、レを記入する。